



<http://jp.ieee.org>

IEEE ジャパン・オフィス

〒107-0062
東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル東館19階
Tel: 03-3408-3118
Fax: 03-3408-3553
Email: ieee-japan@ieee.org
Website: <http://jp.ieee.org>

IEEE 本部

445 Hoes Lane
Piscataway, NJ 08854 USA
Tel: +1-732-981-0060
Fax: +1-732-981-9667
Website: www.ieee.org

IEEE グローバルオフィス

Bangalore, India
Beijing, China
Los Alamitos, CA, USA
New York, NY, USA
Singapore
Washington, DC, USA



<http://jp.ieee.org>



IEEE Intelligent Transportation Systems Society
IEEE Magnetics Society
IEEE Microwave Theory and Techniques Society
IEEE Nuclear and Plasma Sciences Society
IEEE Oceanic Engineering Society
IEEE Photonics Society
IEEE Power Electronics Society
IEEE Computer Society
IEEE Consumer Electronics Society
IEEE Control Systems Society
IEEE Dielectrics and Electrical Insulation Society
IEEE Education Society
IEEE Electron Devices Society
IEEE Electromagnetic Compatibility Society
IEEE Engineering in Medicine and Biology Society
IEEE Geoscience and Remote Sensing Society
IEEE Industrial Electronics Society
IEEE Industry Applications Society
IEEE Information Theory Society
IEEE Instrumentation and Measurement Society

IEEE Aerospace and Electronic Systems Society
IEEE Antennas and Propagation Society
IEEE Broadcast Technology Society
IEEE Circuits and Systems Society
IEEE Communications Society
IEEE Components, Packaging, and Manufacturing Technology Society
IEEE Computational Intelligence Society
IEEE Computer Society
IEEE Consumer Electronics Society
IEEE Control Systems Society
IEEE Dielectrics and Electrical Insulation Society
IEEE Education Society
IEEE Electron Devices Society
IEEE Electromagnetic Compatibility Society
IEEE Engineering in Medicine and Biology Society
IEEE Geoscience and Remote Sensing Society
IEEE Industrial Electronics Society
IEEE Industry Applications Society
IEEE Information Theory Society
IEEE Instrumentation and Measurement Society



IEEEについて

IEEE（アイトリブリー）とは、Institute of Electrical and Electronics Engineers の略称であり、世界最大の電気電子専門家組織です。IEEEは、American Institute of Electrical Engineers（AIEE、1884年設立）と Institute of Radio Engineers（IRE、1912年設立）の統合により1963年1月にスタートしました。AIEE設立からすると130年もの歴史ある団体です。IEEEは、米国の公益法人法によって公益法人に指定されています。

IEEEのミッション：IEEE's core purpose is to foster technological innovation and excellence for the benefit of humanity. 人類社会に有益な技術革新を発展させることを目的としており、IEEEおよびIEEEメンバーは、頻繁に引用される出版物、国際会議開催、標準規格（スタンダード）策定、専門的・教育的活動を通じ、国際社会をインスパイアしています。

IEEEの主な活動

■ メンバーシップ

IEEEは160以上の国々に約43万人のメンバー（うち学生メンバー約120,000人）を擁しています。日本のメンバー数は約14,000人（学生メンバー約2,000人）になります。

IEEEには38の各専門分野（ソサイエティ）があり、その地方組織として2,231のチャプターが世界中で活動しています。また、80ヶ国の大学には2,516の学生会（Student Branch）が活動しています。

IEEEメンバーシップの最大の価値は、技術革新、最先端情報へのアクセス、他の専門家・研究者達とのネットワーク構築、キャリア形成、メンバー特別価格等メンバーだけに用意された特典にあります。電気工学全般はもとより、コンピュータや持続可能なエネルギーシステムから航空宇宙、コミュニケーション、ロボット工学、ヘルスケア 等多岐にわたる専門家であるメンバーに向けて以下の様々なメンバー特典を用意し支援しています。

■ 出 版

IEEEでは全世界の電気電子関連技術出版物の約1/3を刊行しています。最新情報を定期刊行物（161タイトル以上）や350万件以上の論文をダウンロードできるデジタルライブラリー“IEEE Xplore®”を提供しています。

■ 国際会議の開催

世界80ヶ国で毎年1,300以上の国際会議を開催／協賛しており、約42万人に参加いただいています。

■ IEEE標準規格（スタンダード）策定

ワイヤレスネットワークで知られるIEEE 802®をはじめ、1500 の標準規格をもつIEEEは、今日の通信、情報技術、発電製品とサービスの多くを支える国際標準規格のリーディングデベロッパーであり現在も新たな標準規格を策定中です。幅広い新技術標準化のソースとなっています。

■ 教育・キャリア形成支援

IEEEでは工学、研究その他技術分野での幅広い学習プログラム提供、キャリア形成支援および就職支援をしており、IEEEメンバーおよび工学・科学界の専門家のスキルと知識の継続的向上をサポートします。

■ その他の活動

アワード / ボランティア / 奨学金 / フェローシップ / Affinity Group : YP (Young Professionals), WIE (Women in Engineering) Life Member (LM)



The force behind innovation.

IEEEジャパン・オフィスについて

当オフィスはIEEE Computer Societyのアジア・パシフィック地域の会員へのサービスの向上を目的として1988年に東京に開設され、2010年に日本におけるIEEE活動全般を統括・支援する「IEEEジャパン・オフィス」として再スタートしました。ジャパン・オフィスではIEEEおよび会員活動全般に関するお問い合わせにお答えするほか、入会申込みの受付、国際会議のご案内等を行っています。2014年現在日本国内には約14,000人のIEEE会員があり、この年は53件のIEEE主催および共催の国際会議が日本国内で開催されました。

Volunteer Engagement Center のご案内

ジャパン・オフィス内にございますVolunteer Engagement CenterはIEEEメンバーの皆様の活動（会議、プレゼンテーション等）に“無料”でご利用いただくことができます。

設 備

ご利用時間：9：00～17：00

収容人数：10人程度

液晶プロジェクターおよびスクリーン一式

ホワイトボード

WiFi

※ご予約など詳細はジャパン・オフィスまでお問い合わせください。



【最新の知識・キャリア形成支援】

- IEEE Member Digital Library (IEEE Xploreへのアクセス)
- IEEE Societies
- IEEE Spectrumマガジン
- IEEE Women in Engineering
- Proceedings of the IEEE
- ボランティア参加
- 資格認定試験

CSDP (Certified Software Development Professional)
 CSDA (Certified Software Development Associate)
 CBP (Certified Biometrics Professional)

【ネットワーキング】

- IEEE memberNet
- オンライン・コミュニティへの参加
- 国内のセクションおよびチャプター活動への参加
- Young Professionals (YP)プログラム
- myIEEE

myIEEEページで自身のメンバー登録情報管理や、IEEEウェブサイト内の情報へのアクセスを自分流にアレンジできます。
 また、myIEEEページを利用すれば他のIEEEメンバーとのネットワーク構築も容易になります。

- GoogleApps@IEEE

【無 料】

- @ieee.orgの個人メールアドレス (UCE/スパム・フィルター付)
- e-Book Classics
- キャリア・アラート
- キャリア・ウェビナー
- eラーニング・ライブラリ
- The Institute Newsletter

【学生向け特典】

- IEEE Potentialsマガジン
- 奨学金・アワード
- コンペティション
- Microsoft開発ソフトウェア
- Student Branchへの参加

【ディスカウント】

- IEEEソサイエティへの参加
- IEEE国際会議への参加
- IEEE Continuing Education Providers Program
- IEEE出版物
- Wiley-IEEEプレス
- 国内学会 (電子情報通信学会、情報処理学会) への入会
- レンタカー・サービス
- 生命保険 (Clements Worldwide Life Insurance)
- Dellコンピュータ
- Mozyオンライン・バックアップ

【生涯教育】

- IEEE.tv
- IEEE Continuing Education Providers Program
- IEEE Mentor Centre

【人道支援】

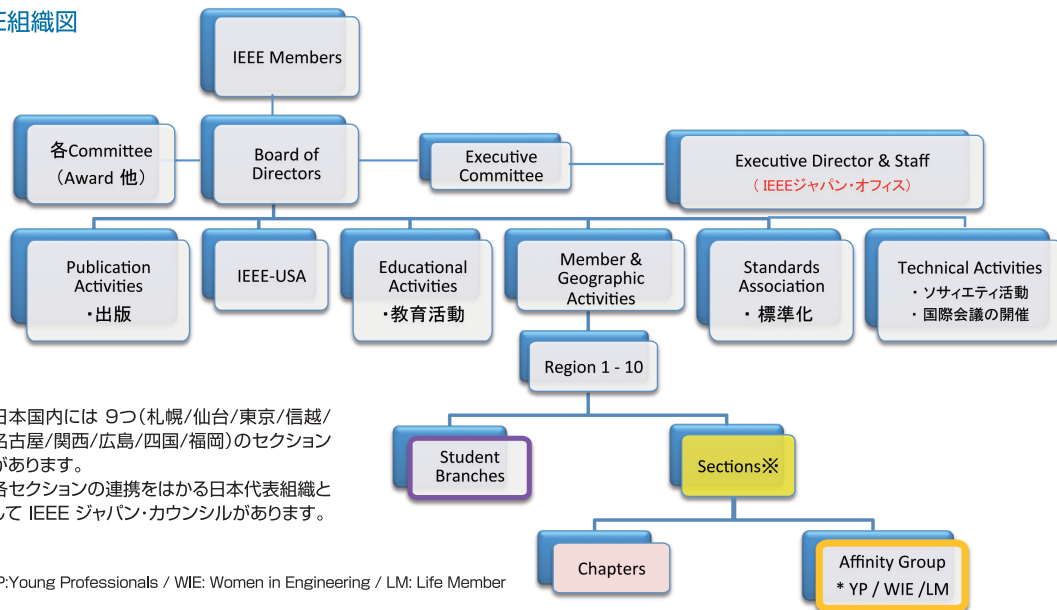
- IEEE Humanitarian Technology Challenge
 (www.engineeringforchallenge.org)

IEEEメンバーシップへの入会は
 下記URLからオンラインでお申込みいただけます。

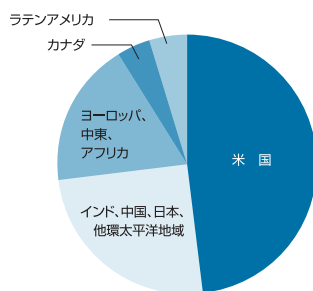
2015年 メンバーシップ料金	プロフェッショナル メンバー	学 生メンバー
Full year (1月1日～12月31日)	\$150	\$27
Half Year (7月1日～12月31日)	\$75	\$13.50

<http://www.ieee.org/join>

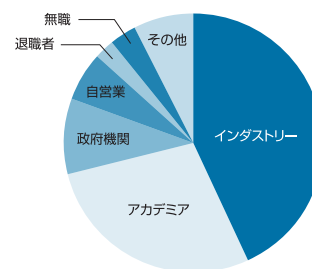
IEEE組織図



メンバーの地域分布



メンバーの業界分布



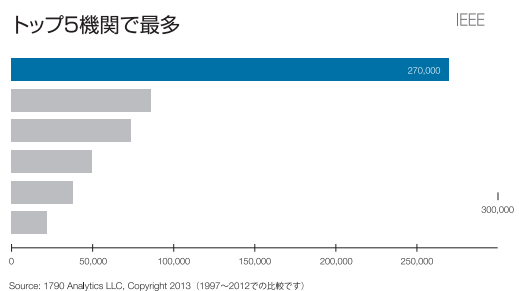
IEEEを利用する企業／団体の数

世界中の工業大学トップ100中97校
米国の工業学校トップ100
半導体企業トップ29社中28社
通信サービス企業トップ6社中5社
通信機器企業トップ10社中9社
航空宇宙関連企業トップ10社中9社

Source: 2013 Forbes Global 2000 rankings

特許とIEEE文献引用数

IEEE発行の雑誌および会議録は信頼のおける文献として、北米特許における引用数は競合出版社トップ5機関で最多



<http://www.ieee.org/join>

お問合せ

IEEE ジャパン・オフィス (03-3408-3118 / ieee-japan@ieee.org)

<http://jp.ieee.org>



小 菅 一 弘

東北大学大学院工学研究科 教授

- 1998 - 2001 IEEE Robotics and Automation Society 副会長
- 2004 国際会議Intelligent Robots and Systems (IROS2004) 実行委員長
- 2009 国際会議Robotics and Automation (ICRA2009) 実行委員長
- 2010 - 2011 IEEE Robotics and Automation Society 会長
- 2015 - 2016 IEEE Division X ディレクター

グローバル・オープン・ダイバーシティ

最初は論文を読んだり国際会議に参加するだけだったのですが、諸先輩方に誘われて次第にIEEEの活動に関わるようになりました。IEEEの良いところは、グローバルでありオープンであるということです。どのようなアイデアでも、それが良ければすぐに受け入れてもらえるのでストレスがありません。国籍・人種・性別・年齢等に関係なく活動でき、ダイバーシティや個々のリーダーシップの重要性が実感できると思います。会員になり自身のグローバルなネットワークを構築し、グローバルな活動がどのようなものか体験されてはいかがでしょうか。



石 川 佳 寿 子

株式会社ピコサーム 代表取締役社長

- 2012 - 2013 IEEEジャパン・カウンシル Women In Engineering 副チェア
- 2014 - 2015 IEEEジャパン・カウンシル Women In Engineering チェア

IEEEジャパン・カウンシル Women In Engineering (WIE)では、女性技術者・研究者のキャリアアップ支援とネットワーキングを行ってまいりました。日本は、諸外国に比べ女性技術者や研究者が少ないのが現状です。職場では数少ない女性技術者・研究者のロールモデルも、IEEEに参加することによりグローバルで活躍するさまざまなロールモデルに出会うことができ、世界が大きく広がります。またIEEEのネットワークを通して、新しい研究開発や技術開発に向けたオープン・イノベーションができるのもIEEEの醍醐味です。新しい未来を拓く場、それがIEEEです。



萩 本 和 男

NTTエレクトロニクス株式会社 代表取締役社長
IEEEフェロー

- 2015 - 2016 IEEE東京支部 チェア
- 2015 - 2017 IEEE Photonics Society 理事

海外への窓口

IEEEに入会したのは今からちょうど30年前、IEEEの論文誌に投稿するにあたってメンバーとして掲載されたいと思ったからです。海外の専門家コミュニティに加わり苦手の英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしたこともきっかけです。光通信分野の研究開発からコンポーネントビジネスまで関わる経験の中で、IEEEでの活動を通じて培ってきたコミュニティの人間関係や足跡はたいへん大きな力になっています。会費もかかりますが、専門家として、それを遙かに上回る経験と機会も得られたと感じています。昨今はアジアの若い人と接点を持つことが増えてきました。IEEEコミュニティのつながりを活用して、新しい場の創造に役に立つことはうれしいことです。



大 野 光 平

明治大学 総合数理学部
ネットワークデザイン学科 講師

- 2013 - 2014 IEEE Tokyo GOLD (2013) / Young Professionals (2014) チェア
- 2014- IEEE Intelligent Transportation Systems Society 東京チャプター セクレタリ

私はIEEE Young Professionals(2013年以前はIEEE GOLDの名称)で活動をしています。YPとは卒業後15年以内の若手IEEE会員の集まりで、大学院生、企業の技術者、大学の教員たちとの率直な交流を通じて就職活動や進学などキャリア構築に役立つ様々なイベントを実施しています。YPでは国内の活動のみならず、Region 10(アジア・パシフィック地域)や世界のYPが集まる機会を通じ、世界中の同年代と交流することができます。またIEEEでは世代を超えた交流ができる団体なので、経験豊富なIEEEフェローの方々やIEEE 会長との交流の場を設けることもあります。IEEEは論文や研究成果の発表の場というイメージかもしれませんが、若手エンジニアや学生にとってかけがえのない交流ができる場でもありネットワーク構築に最適です。ともに日本でのヤング・プロフェッショナルを盛り上げていきましょう。



IEEEでは今最も重要で新しい技術分野について会員コミュニティを作り、将来実用化が期待される先端技術へのリソースを提供しています。

それぞれのコミュニティにはWebポータルがあり、関連する国際会議、最新ニュース、出版物、教育活動、標準規格（スタンダード）等様々な情報を提供しています。

各コミュニティにIEEE会員は無料で参加できます。



IEEE Future Directions Committeeでは最先端技術に関する更なる取り組みについてインキュベーターの皆様からのご提案をお待ちしています。

Graduated Initiatives

これらはIEEE Future Directions におけるライフサイクルを経て成熟化した取り組みです。

これらのコミュニティにもそれぞれWebポータルがあり情報発信しているほか、同様に参加いただけます。



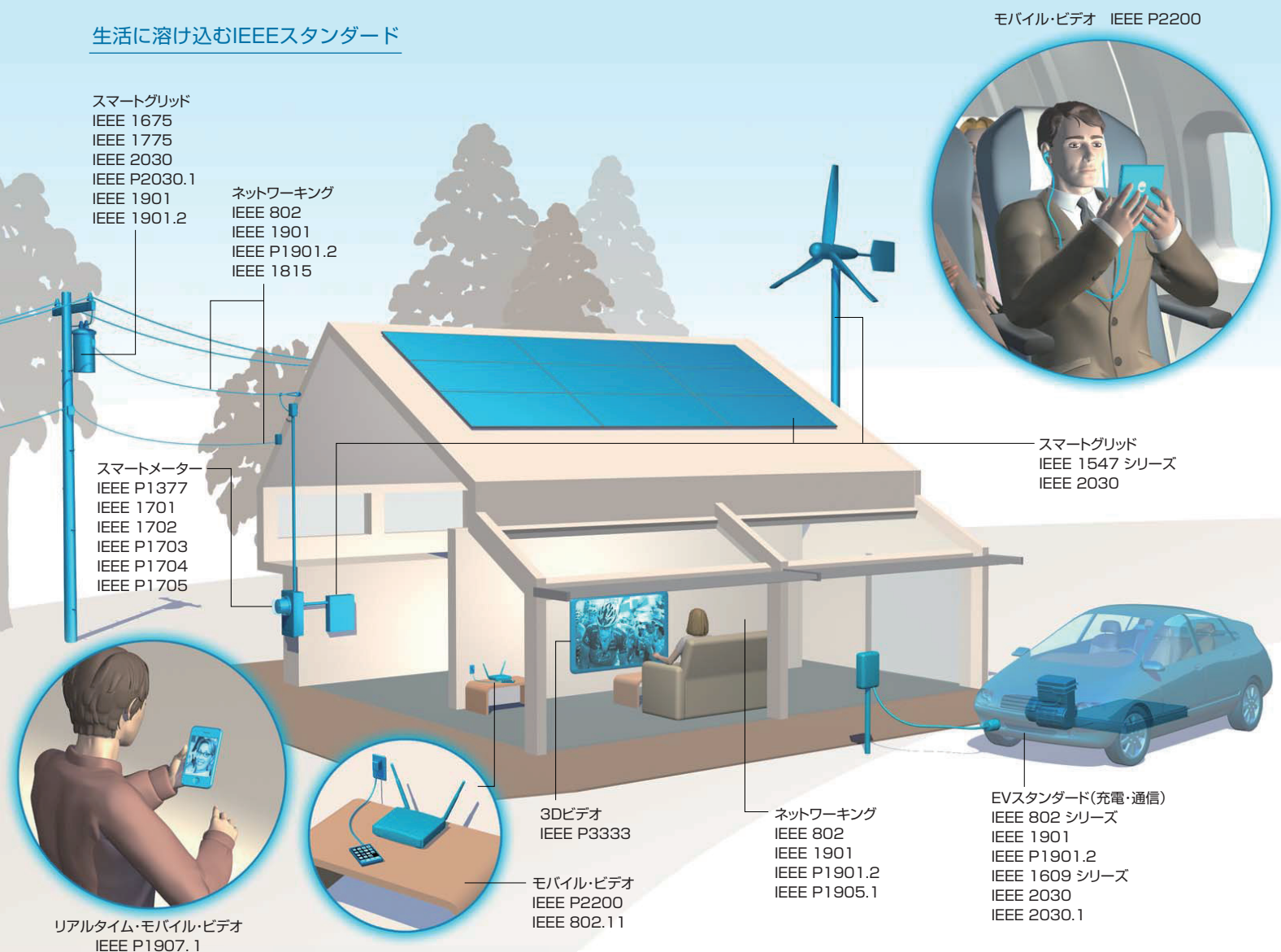
IEEE Future Directionsについて詳しくはウェブページ
(<http://www.ieee.org/about/technologies/index.html>)をご覧ください。
IEEEジャパン・オフィスにお問い合わせください。

標準化を行うことにより、私たちの生活や仕事、コミュニケーションなどにおける様式を変えるような様々な製品やサービスの機能性や相互運用性が高まります。IEEE-SAはIEEE組織の一部門で、IEEEにおける標準化活動を行います。

IEEEの標準化プロセスは公開されており、参加者に対して手続きの正当性、開放性、コンセンサス、バランス、そして審判請求権を守ることにより、常に公平で民主的な手段で達成されます。

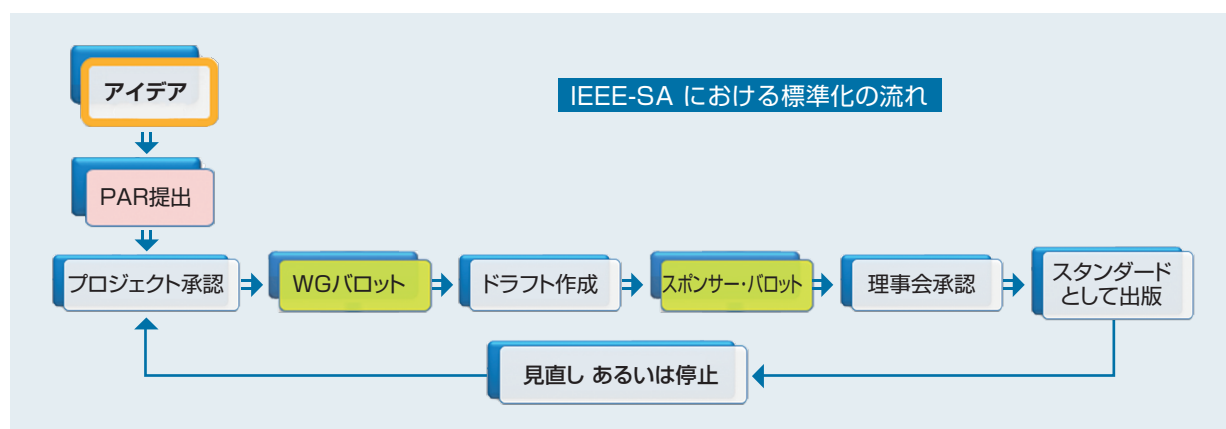
現在IEEEでは900件以上のスタンダードが実用化され、500件以上が開発中です。

生活に溶け込むIEEEスタンダード



IEEE会員であることとIEEE-SA会員であることは異なります。IEEE会員になれるのは個人のみである一方、IEEE-SA会員は個人でも団体でもなれます。IEEE-SAのメンバーシップは、その会員がIEEEでの標準化作業に参加することを前提としています。

- IEEEで標準化したい案件があれば、アイデアの段階では大雑把なものでも具体的なものでも構いません。ただ、標準化を進めるには一個人ではなくグループの協力と同意が必要となります。IEEE-SAで標準化プロジェクトを開始するには、その提案者はまずPAR (Project Application Request)をそのプロジェクトの「スポンサー」に提出する必要があります。PARが認可されると「スポンサー」はその標準化したい案件に責任を持ち、技術的な監督を行います。「スポンサー」は通常はIEEEのソサイエティが務め、提案したい標準化プロジェクトの分野や領域によって複数のソサイエティが務めることもあります。IEEE-SAはスポンサーに適当なソサイエティを決めるお手伝いもします。
- PARをスポンサーの審査にかなうものにしたい人たちは、集まってPAR提出前に議論を重ねたいかもしれませんが、その集まりをスタディ・グループと呼び、このグループがPAR承認後に実際に標準化の議論を重ねるワーキング・グループ(WG)に発展することもあります。
- IEEEの標準化活動には2つのカテゴリーがあります。ひとつはIEEE-SAの個人会員および非会員(個人)がWGに参加して議論を重ねて開発に至るもの(Individual Project)です。もう一方はIEEE-SAの団体会員によって議論と開発がされるもの(Entity Project)です。団体会員には企業、教育機関および政府機関などがなれます。団体会員はIEEE-SAにおけるいずれのEntity Projectにも参加でき、それらのWG情報は団体会員のみに開示されます。IEEEで標準化をしたい案件がある場合、それをIndividual ProjectとしたいかEntity ProjectにしたいかはPAR提出の際に示し、決定するのはスポンサーとなります。Individual ProjectのWGの議論にはIEEE会員でも、IEEE、IEEE-SAいずれの非会員でも参加することができます。



- WGでの議論がある程度進んだ段階で、WG参加者によってそのスタンダードの主な仕様の可否を決める投票(バロット)が行われます。WGバロットでの投票権は各WGのルールに従って与えられます。例えば通信規格のIEEE802WGの場合、参加者が投票権を得るためにはWGミーティングに3回の出席が必要となります。WGミーティングは2か月に1回開催されるので、これには半年を要します。
- WGバロットを経てスタンダード開発の議論がさらに進み、それをドラフト化する段階でスポンサー・バロットを行います。スポンサー・バロットで投票できるのは基本的にIEEE-SA会員に限られますが、そのWGのメンバーである必要はありません。しかしそのスタンダードの仕様を議論する上ではWGバロットがより重要です。スポンサー・バロットではIEEE-SAの非会員でも1回のみ有効の投票権を購入して投票に参加することもできます。このスポンサー・バロットを経てそのスタンダードはIEEE-SA理事会で承認の運びとなり、発効します。